



■ 教 育 目 標 ■

- ・よく学び、よく考える自主性のある中学生
- ・心身ともに健康で礼儀正しい中学生
- ・規律と責任を重んじ、よく働く中学生

さらなる前進 さらなる挑戦 ～失敗を恐れず、挑戦しよう！～

校長 金澤 栄治

1年間の総まとめとなる学年末考査が終わりましたが、自分のもっている力を最大限に発揮することができたでしょうか。自分でたてた学習計画と結果から今回の学習状況を振り返り、反省すること、そして不得意分野を克服するための努力は、次への成長に必要なことです。この3月に自分ができたことも含めて、新年度に向けて自分の新たな「目標」を決めましょう。

さて、ミラノ・コルティナで開催されていた冬季オリンピックが終わり、日本のメダル数は金5、銀7、銅12の合計24個で冬季オリンピック史上、最高数でした。いくつものドラマがあったオリンピックでしたが、そんな中で特に印象に残ったものは、フィギュアスケートペアでショートプログラム5位からのフリーで、1位との6.9点差(2006年トリノオリンピック以降最大)を大逆転し、見事金メダルを獲得した、「りくりゅう」こと、三浦璃来・木原龍一ペアの圧巻の演技でした。2019年に木原選手は引退を視野に入れながら、三浦選手は新たなパートナーを見つけるためにトライアウトに参加し、まさに奇跡的な出会いをしました。そこから練習の拠点を海外に移し、経済的に苦労しながら練習に励みました。これまでの道のりは険しいものでしたが、計画的な準備と日々の練習の成果、そして互いに信じ合い、相手を思いやる心があったからこそ、今回の金メダルにつながったのだと思います。3月6日からはパラリンピックが始まります。様々な障がいのあるアスリートが自らの可能性に挑戦する晴れの舞台です。ぜひ、パラリンピックをとおして、アスリートたちの輝く姿を、これまでの努力の成果を心から応援しましょう。

「物をつくる前に人をつくる」この言葉は、どんな仕事であっても、一番大切なのは人としてのあり方であることを伝えていきます。皆さんは、パナソニックという会社名を聞いたことがあると思います。テレビやエアコン、照明など、私たちの生活に欠かせない製品をつくってきた会社です。今日はこの言葉を大切にしてきた、その創業者である、松下 幸之助 さんについてお話しします。

松下幸之助さんは、はじめから成功していた人、というわけではありませんでした。むしろ、失敗と苦労の連続の人生でした。松下幸之助さんの家は当時、貧しく、十分に学校へ通うこともできませんでした。そのため9歳（今で言う小学3年生）で働きに出ました。しかし、体も弱く、仕事がつらくて辞めてしまうこともありました。普通なら、「自分は運が悪い」「どうせ無理だ」とあきらめてしまいそうですが、松下幸之助さんは、「学校で学べないなら、仕事の中で学ぼう」と考えたのです。人の話をよく聞き、失敗したときには「なぜ失敗したのか」を必ず振り返ったそうです。そんな生活を繰り返す中で、会社を立ち上げます。でも、うまくいかず失敗が続いてしまいました。一生懸命つくった製品がまったく売れない、在庫が山のように残り、会社がつぶれそうになったこともありました。そんなときでも松下幸之助さんは決して社員を責めたりしませんでした。

「売れなかったのは、努力が足りなかったからではない。考え方を改めよう」と言い、どうすれば人の役に立つかを改めて考え直しました。失敗を「誰かのせい」にするのではなく、「次に生かす材料」にしたのです。あるとき、会社の経営が非常に苦しくなり、「社員を減らさなければならぬ」と周囲から言われましたが、松下幸之助さんは、社員を一人として解雇しませんでした。その代わりに、「今は売る商品がない。ならば、みんな

なで売りに行こう」と声をかけ、全社員で製品を売り歩いたそうです。この経験は、社員にとっても大きな自信となり、会社が立ち直るきっかけになりました。

松下幸之助さんは、こうした経験から学んだことを『道をひらく』という本にまとめています。その中に、次の言葉があります。「失敗することを恐れるよりも、何もしないことを恐れない。」

この言葉は、「失敗してもいいから、挑戦をやめるな」という強い本気で立ち向かう思いが込められています。では、今皆さんの中で、「失敗しそうだからやめていること」や「自信がないから挑戦していないこと」は、ないでしょうか。

勉強、部活動、人間関係など、うまくいかないこともあるでしょう。しかし、その経験は、決して無駄ではありません。松下幸之助さんのように、失敗を振り返り、次につなげることで、人は成長します。松下幸之助さんは、特別な才能に恵まれた人ではありませんでしたが、失敗から逃げず、考え続け、挑戦をやめなかった人です。皆さんも、これから困難な壁に立ち向わなければならないことがありますが、そのときにこそ、松下幸之助さんの言葉を思い出してください。きっとその小さな一歩が、皆さん自身の「道」をひらいていくはずですよ。

最後になりますが、保護者、地域の皆様、日頃より本校の教育活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。これまでのご家庭での励ましや見守りが、お子さんの成長を強く支えております。今後とも学校と家庭、そして地域が連携しながら、子どもたちが安心して挑戦し続けられる環境づくりに務めて参ります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

☆☆☆ 部活動大会・その他の活動等について ☆☆☆

○江戸川区吹奏楽連盟第26回アンサンブルフェスティバル

打楽器三重奏…銀賞

木管六重奏……銀賞

○○第75回東京都立学校美術展覧会出品

美術…3年生2名 技術…3年生2名 家庭…2年生1名

生徒の個人名は紙配布のものでご確認ください。

* 3月の主な行事予定

2日(月)	3年都立高校一般入試発表・手続	17日(火)	卒業式予行
3日(火)	避難訓練	18日(水)	3年生送別会
6日(金)	学芸発表会(生徒対象)	19日(木)	卒業式(1,2年リモート参加)
7日(土)	学芸発表会(保護者対象)	20日(金)	春分の日
9日(月)	振替休業日	23日(月)	1,2年保護者会
10日(火)	専門・中央委員会	24日(火)	大掃除 給食終了
12日(木)	3年校外学習 安全指導	25日(水)	修了式 離任式
13日(金)	3年薬物乱用防止教室	26日(木)	春季休業日 (~4月5日(日)まで)

* 第52回卒業式、1・2年生第3学期保護者会について

3年生の卒業式、1・2年生の第3学期保護者会を下記の日時で実施いたします。卒業式につきましては、昨年度同様、参列者の数を制限しないため、体育館は可能な限り座席の間隔をとりますが、人数の関係上、距離が近くなることをご理解ください。

○第52回卒業式…3月19日(木) 受付9:05~9:40 開式10:00

○1,2年生3学期保護者会…3月23日(月)全体会15:00、学年懇談会15:40

* 学芸発表会・卒業式・保護者会とも学校内及び付近には、十分な駐車及び駐輪場所がありませんので、お車及び自転車での来校や近隣の商業施設駐車場の利用はお控えください。